学校番号	3009

令和８年度　工業科（グラフィックデザイン系）

教科	工業科 (ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ系)	科目	(学)色彩技術	単位数	２単位	年次	３年次 (深化選択)
使用教科書	なし						
副教材等	『最短合格色彩検定２級・３級テキスト＆問題集』（ナツメ社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

色彩の基本的な原理を、生活の中に見る実例を挙げながら多面的に解説していく。その範囲は、一般的になじみの深い色彩心理・計画だけでなく、眼の構造、光の仕組みなど多岐に渡る。

色の性質と特徴を理解する。混色の理論から配色の理論と実際を詳しく学ぶ。混色と調色の技能を習得し、各自の制作や考察の一要素にできるよう、色材を用いた課題を課す。

また、色を用いた課題を出すことで色の知覚的効果への理解を深め、色彩調和の技法を学び、応用力が身に付くように指導する。

2　学習の到達目標

色彩の基本的な知識を実践的に習得するとともに、色彩検定２級合格相当の知識を身に付ける。さらに、色彩学の基礎をもとに、デザインをはじめ様々な分野に応用する技術を習得する。色彩検定３級２級受験を想定し、色彩調和の基本システムを中心に、デザインの実践に即した実用技術を身に付ける。色彩に関する基礎と配色の基本について学ぶことで、生活の中で確認する様々な配色に対する観点を養い、よりよい社会を創造していこうとする姿勢を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	色彩に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、関連する技術を身に付け、色のもつ役割を理解し、その知識を適切に活用する能力を身に付けている。	色彩に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	色彩に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	色彩検定	目の構造・見え方 光と色 混色 色の表し方 色彩調和 配色のイメージ ビジュアルデザインと色彩 色彩の心理 ファッションの中の色彩 慣用色名	a: 色彩をもとに、工業的な見方・考え方を働かせてデザインにおける観察や標示、色彩について理解し、技術を身に付けることができる。 b: 工業的な見方・考え方を働かせて創造活動における課題を見つけ、その解決に向け工夫することができる。 c: 観察と標示、色彩について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	ワークシート 演習課題 授業観察 定期考査	ワークシート 演習課題 授業観察 定期考査 プレゼンテーション	ワークシート 演習課題 授業観察 プレゼンテーション
後期	色彩演習	ユニバーサルデザイン色 インテリアと景観の色彩 プロダクトデザインと色彩 錯視・図形と色 配色演習 配色について調査・発表	a: 色彩について社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、ものづくりにおける様々な状況に対応できる知識を身に付けている。 b: 色彩により解決できる課題を見いだし、単に表面的なデザイン性だけを優先するのではなく、デザインが社会や生活に与える影響に対して責任をもち、科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を身に付けている。 c: 色彩による豊かで快適な生活空間を構築する力の向上をめざし、人々が求めているものや社会の動向の情報を基にした機能を製品化する方法について自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート 演習課題 授業観察	ワークシート 演習課題 授業観察 プレゼンテーション	ワークシート 演習課題 授業観察 プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度